

平成27年4月22日
国土交通省
延岡河川国道事務所

< 記者発表資料 >

4月29日北方延岡道路(蔵田～北方間)開通前の

北方延岡道路トンネル防災訓練について

～トンネル内事故・火災等に備えて～

国土交通省延岡河川国道事務所が整備を進めてきた北方延岡道路(蔵田～北方間)が、4月29日に供用を開始します。

今回の訓練は、トンネル内での交通事故等を想定し、関係機関が情報連絡、事故処理、人命救助、交通規制等、迅速かつ円滑な対応を目的として実施します。

訓練日時 : 平成27年4月24日(金) 14:30～15:30

訓練場所 : 北方延岡道路(蔵田～北方間) 蔵田トンネル終点付近
※別紙-2を参照

参加機関 : 国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所
宮崎県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊
延岡市消防本部
西臼杵広域行政事務組合 消防本部
宮崎大学医学部附属病院救命救急センター(ドクターヘリ)
その他関係協力機関

訓練内容は、訓練実施概要(別紙-1)のとおりです。

当日に取材を希望される際には、平成27年4月23日までに国土交通省延岡河川国道事務所までご連絡ください。

また、取材をされる皆様は、別紙-2によりご通行頂きますようお願いいたします。

<お問い合わせ>

国土交通省 延岡河川国道事務所 (Tel: 0982-31-1155)
(訓練全般) 副所長(道路) 池田 稔浩 (内線: 205)
道路管理課長 村田 茂男 (内線: 431)
(規制訓練) 宮崎県警交通部高速道路交通警察隊 (Tel: 0985-31-0110)
高速道路交通警察隊副隊長 徳満 隆志
(救急訓練) 延岡市消防本部 (Tel: 0982-22-7105)
警防課 課長補佐兼警防係長 田口 寿孝

別紙ー 1

北方延岡道路（蔵田～北方間）トンネル防災訓練実施概要

1. 日 時

（実施日）平成27年4月24日（金） 14：30～15：30

2. 場 所

北方延岡道路（蔵田交差点～北方IC間） 延岡市北方町蔵田
蔵田トンネル終点側坑口付近（トンネル内）

3. 参加機関（順不同）

- (1)国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所
- (2)宮崎県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊
- (3)延岡市消防本部
- (4)西臼杵広域行政事務組合消防本部
- (5)宮崎大学医学部附属病院救命救急センター（ドクターヘリ）
- (6)その他関係機関

4. 訓練の目的

この訓練は、平成27年4月29日に供用開始する「北方延岡道路（蔵田～北方間）」における交通事故等に備え、迅速かつ円滑な救急救命活動を行うため、

- ①国土交通省、警察、消防等の関係機関の連携強化を図る。
- ②各関係機関の役割分担を再認識する。

などを目的として実施する訓練である。

5. 事故想定

4月24日（金）14時30分頃、「北方延岡道路」（蔵田交差点～北方IC）の「蔵田トンネル（L756m）」において、上り車線を走行中の普通乗用車が中央分離帯（剛性中分）に衝突し、後続車の普通トラックがこれに衝突する事故が発生した。

事故により大破した普通乗用車には、負傷した運転手1名が取り残され、もう一方のトラック運転手1名も負傷したが、辛うじて自力で車外へ脱出した。

トラック運転手は近くの非常電話を使い「国土交通省 高規格道路管理センター」に事故の報告をした。

同センターから延岡河川国道事務所に連絡が入り、延岡河川国道事務所から事故の通報を受けた延岡市消防本部は直ちに宮崎県ドクターヘリと西臼杵広域行政事務組合消防本部に応援要請をした。宮崎県ドクターヘリとのランデブーポイントは北方インター公園とした。

事故発生後、後続車両が二次災害に巻き込まれることは無かったが、事故の影響により現場付近の上り車線には通行車両が滞留しているため、延岡市消防本部の消防車両等は事故現場に到着できない状況である。

現場到着が大幅に遅れると判断した延岡市消防本部は、予定していた宮崎県ドクターヘリとのランデブーポイントを、急遽日之影町「八戸いこいの広場」に変更するよう要請し、同時に西臼杵広域行政事

務組合消防本部の救急隊（以下、西臼杵救急隊）に、宮崎県ドクターヘリの医師を同場所にてピックアップして現場に向かうよう連絡した。

先着した西臼杵救急隊は医師とともに観察及び救急処置を開始し、現場の状況を随時延岡市消防本部へ送信した。

通行規制後、事故現場に到着した延岡市消防署の出場隊は直ちに警戒筒先の配備と医師及び西臼杵救急隊と連携した救助活動を開始。同時刻、自力で脱出していたトラックの運転手が突然嘔吐した後に意識状態が不良となる。2名の傷病者を西臼杵救急隊と延岡市救急隊による搬送開始直後、事故の影響によりトラックの燃料タンクから洩れ出した軽油がエンジン部分で過熱され引火し、トンネル内で車両火災が発生した為、消防隊は消火活動を開始する。

消火活動終了後には、レッカー車による事故車両の移動訓練及び規制解除訓練が行われる。

以上。

※訓練内容について、当日の状況等により、変更が生じることもあります。

